

令和4年10月27日



相談室からのお手紙（10月号）

愛媛県立松山中央高等学校

秋になりました。「読書の秋」と考えると、私は『星の王子さま』を思い出します。初めて手に取ったのは小学3年の時で、叔父の蔵書から。題名と作者サン＝テグジュペリの絵に惹かれたからでしたが途中で挫折。次に読んだのは高校2年の時でした。そしてこの時、私は王子さまの寂しさと、物語の透明な美しさに心打たれました。「砂漠は美しいな……」という王子さまの言葉に泣いてしまいました。優しくて悲しい、切なくていとおいしい、「たいせつなことはね、目に見えないんだよ」と教えてくれるこの本に、圧倒されました。

次の日の掃除時間、興奮冷めやらぬまま友人に語っていたところに担任の先生がいらして「本は、出会うタイミングがあるんだよ。きっとその時だったんだなあ」とおっしゃいました。その通りです。小3で8歳の私には最後まで読み進めてもわからなかったでしょう。こんなに涙が出てしまうことは、きっとなかった。16、17歳だったから理解できたことがあって、心を大きく揺さぶられる感動を持てたのだと思います。私は高校生の時にこの本を読んで本当に良かったです。私にとって大切な本の中の1冊になりました。

1冊の本との出会いが、自分を変えた、人生を変えた、というのは本当です。本の中にはいろんな人生があり、登場人物とともに読者も一緒に成長しています。また、その中にある様々な心を知ることは私たちの想像力を育てていて、その想像力は、人を思いやる優しさにもつながっていると思うのです。

スクールライフアドバイザー 岡本 綾

★スクールライフアドバイザー来校予定日（12：00～18：00）

10月27日（木）

11月 1日（火）・ 8日（火）・ 10日（木）・ 15日（火）

★メールアドレス

kawamin_chuosoudansitu@school.esnet.ed.jp

★メールは24時間いつでも受け付けています。返信はスクールライフアドバイザーが来校した時に行いますので、お待ちいただくことがあります。生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆様も、気軽に利用してください。



SLA 岡本さん&教育相談課のオススメ本はこちら



岡本さんのオススメ本

『続・ぼくを探しに

ビッグ・オーとの出会い』

シルヴァスタイン・著
倉橋由美子・訳 （講談社）



探しものは何ですか。
ビッグ・オーに出会いま
したか。欠落したかけらがビッグ・
オーと出会い、最少の言葉を交わす
中で、ものの見方について考えてい
く大人の童話です。



岡本さんのオススメ本

『空の名前』

高橋健司・写真（光琳社出版）

鱗雲、朧雲、鯖雲、雲の霧。気象
現象である雲を表す日本語は豊かだ
す。空を見つめ、空を撮り続けた写
真家が、雲や空、気象にまつわる言



葉に写真約
300点を添
えたフォトミ
ュージアムで
す。



教育相談課のオススメ本

『君たちはどう生きるか』

吉野源三郎・著（マガジンハウス）

この本は中学生であるコペル君が
世の中の仕組みや、いじめ、貧困、
偉大さなどを実際に体験しながら、
また叔父さんに教わりながら、成長
していく物語です。コペル君をとお
して、自分たちはどのように生きて
いくのかを問われているように感じ
る作品です。漫画版の表紙絵は、み
なさんもポスターで見たことがある
かもしれません。漫画版もどうぞ。



教育相談課のオススメ本

『あつかったら ぬげばいい』

ヨシタケシンスケ・著（白泉社）

「ヘトヘトにつかれたら」「ふとっ
ちゃったら」「せかいがかわってしま
ったら」・・・子ども、大人、おじい
ちゃんのさまざまな疑問に痛快に答
える。ヨシタケ式
心を緩める本で
す。くすっと笑え
て気持ちがラクに
なります。

